

第1回定例会

平成29年度一般会計当初予算は、総額70億8400万円となっています。ここでは、主な新規・継続事業を紹介します。予算の詳細は、3ページ以降をご覧ください。



工事が進む城山防災公園。平成30年度完成予定。

南下城山防災公園整備事業

1億7112万円

町民誰もが楽しめる大規模公園を桃井城址に整備します。平成29年度は、前年度に引き続き公園整備を行うほか、駐車場の設置や道路改良などの工事を実施。

主な財源は、国庫支出金1億72万円、借入金6900万円などです。



老朽化が進む文化財事務所

文化財事務所新築移転工事

6980万円

老朽化した文化財事務所を新築移転し、隣接する南下古墳公園と連携して、まちの歴史・文化の情報発信拠点として機能することが期待されます。見学者向けの展示スペースや体験学習室を設け、まちの歴史や文化を身近に触れることができる施設となる予定。

主な財源は、企業版ふるさと納税3000万円、基金繰入金1700万円などです。

平成29年第1回定例会は、3月1日から16日まで、16日間の会期で行いました。今定例会では、平成29年度当初予算など議案24件、報告3件、同意2件、諮問1件、議員発議1件、委員会発議2件、請願1件、陳情1件が提案されました。議案・同意・諮問・議員発議・委員会発議・請願は原案どおり可決し、陳情は不採択としました。



平成29年度の 主な事業



拡張予定の八幡山グラウンド



大型車対応化が待たれる駒寄スマート IC

八幡山グラウンド用地買収事業

2821万円

八幡山グラウンドの拡張事業に伴う、既存グラウンド内で利用している東側の2筆の借用地（面積1872平方メートル）について用地を買収する事業です。

駒寄スマート IC

大型車対応化事業

2億552万円

まちと前橋市・ネクスコ東日本が連携し、駒寄スマート ICの大型車対応化を実施。平成29年度は、用地取得、移転補償などを実施。

主な財源は、国庫支出金1億1183万円、前橋市負担金6877万円などです。

事業名	予算額	内容
防災無線デジタル化事業	7401万円	近年の大規模災害の発生を教訓として、これまで以上に多様化・高度化する通信ニーズに応えるため、平成34年までにデジタル化を実施します。 主な財源は、国庫支出金5550万円、借入金1850万円などです。
ふるさと納税推進事業	6680万円	ふるさと納税事業を全国でサイトを運営している業者に委託することで、インターネットでの申し込みなど寄付してくれる人の利便性を高めるとともに、返礼品の充実を図り、自主財源の確保を図ります。
役場庁舎非常用発電機設置工事	1000万円	災害などにより電気が供給されなくなった際にも、災害対策本部としての機能を果たせるよう、庁舎敷地内に非常用発電機を設置し、防災機能の強化を図ります。 財源は、借入金1000万円です。
学校給食費の補助事業	2221万円	児童・生徒一人当たり年1万450円補助します。

注 財源に言及がないものは、一般財源が充てられています。